

R7 ライフステージ（すがだいら保育園）_やまほいく事業【まとめ】

別紙2

1 事業概要

- (1)日時 令和7年10月15日(水) 午前9時から11時15分まで
- (2)場所 すがだいら保育園、やまぼうし自然の森
- (3)参加人数 4・5歳児 19名、職員2名、参加型保育の保護者 7名
- (4)講師 NPO法人やまぼうし自然学校3名(以下「やまぼうしの指導者」)
- (5)ねらい 森の中で、植物の観察や自然物を拾いそれらを使った遊びを友達と一緒に楽しむ
- (6)日程 9:10全体会⇒9:20園出発⇒9:50「やまぼうし自然の森」
11:00森を出発⇒11:30園着

2 実施内容

9:10 園庭での説明(注意事項など)

- ・出発前に「やまぼうしの指導者」の自己紹介(ニックネーム)

9:50~11:00 到着・活動

- ① 「やまぼうしの指導者」が、ロープを使ったアイスブレイクで身体をほぐした後、「やまぼうし自然の森」について説明
落ちている鹿のふんを見せてくれたり、ぬかるみを見つけて「イノシシが水浴びした場所だよ」と教えてくれた。

森の中での約束として、漆の木に触らない、ピンクの目印より奥にはいかない、道具(のこぎり・スコップ)は大人と一緒に使うなどを確認

- ② 森に入ってロープを使った、“平行棒”や“木の枝ブランコ” “ジップロック”を作ってくれ、順番に遊んだ。

子どもたちは、以前の活動で遊んだ経験から、遊び方や体の使い方を知っていて、何度も繰り返し楽しんでいた。

- ③ 道具を使ってのあそび

・のこぎりを使って木の枝を切る子がいた。最初はのこぎりを使いたい気持ちから(保育士が手を添えて)切っていたが、そのうち切った木の断面の模様や色の違いに気づき、切った後の発見も併せて楽しんでいた。

- ④ ロープを輪にしてその中に電車ごっこのように 2~3 人が列になってあちこち歩くことを楽しんだ。

11:00~11:30

「やまぼうし自然の森」から保育園へ：

移動中は列になり、安全に配慮しながら帰園



3 総括(全体のまとめ)

「やまぼうし自然学校」の指導者の皆さんには、山や自然に対する知識が豊富で、その場で子どもが見つけた、きのこや木の名前を教えてくれたり、山は楽しいことだけではなく危険もあることも分かり易く教えてくれた。

子どもたち自身が安全に遊ぶことを意識することが楽しい活動になることを感じた。